

図表2 [性年代別]あなたは「孤独」を感じているか。(回答は1つ) n=2000

	とても感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	まったく 感じない
20代男性	18.4%	<b>44.7%</b>	23.7%	<b>5.3%</b>	<b>7.9%</b>
30代男性	19.8%	26.4%	23.1%	18.2%	12.4%
40代男性	<b>20.9%</b>	<b>31.9%</b>	24.8%	<b>12.6%</b>	9.8%
50代男性	19.6%	25.6%	27.6%	16.3%	11.0%
20代女性	13.8%	26.8%	22.8%	<b>29.3%</b>	<b>7.3%</b>
30代女性	16.0%	29.8%	20.3%	17.5%	16.3%
40代女性	<b>10.3%</b>	23.8%	24.0%	<b>26.4%</b>	15.5%
50代女性	12.9%	<b>20.2%</b>	25.3%	<b>27.2%</b>	14.5%

回答率 (%) は、小数点以下第 2 位は四捨五入により、小数点第 1 位までを表示しています。そのため、合計数値は 100% にはならない場合があります。

り広範囲に及ぶ。  
**孤独感の深さは  
女性スタッフに目立つ傾向**  
もっとも、孤独感の複雑さ、つまり「深さ」で言うなら、女性スタッフも負けてはいない。一つひとつのコメントを精査していくと、長文かつ具体的な描写では女性スタッフのほうが目立っている。例えば、以下のコメントは「派遣という働き方」が「孤独」に係していると感じている、広島県の32歳女性スタッフの長文コメントである。  
「今の派遣先は、私だけが派遣事務で、他の人は正社員かつ専門職なので、疎外感を感じるのだと思う。派遣会社に相談したりしたが、『派遣先の社員の人たちは、私のことを一段下に見ている』という意見で一致したので、実際にそうなのだと思う。派遣先の本社の方には食事会(業務時間中の昼食)や社員旅行(行かないと休み扱いになる)に誘われるのに、店舗で取りまとめる段になると、

(店舗の)社員に『行かないと思って私の分は数に入れて本会社に報告済み』と言われる。一方で掃除などのイベントにはしっかり頭数としてカウントされ、そのあぐくに社員は当日遅刻して来なかった。派遣先に相談した結果、その派遣先を辞めることになった。こういう形でしか解決しなかったの、孤独を感じる」。  
また、「孤独を癒すために『派遣会社の担当者』に期待したい」として、愛知県の53歳女性スタッフから寄せられた、以下のコメントもかなり長文であり、主張にも熱がこもっている。  
「立ち位置を同列に扱おう。建て前上〇〇年働いたら正社員登用とか不毛、正社員にしない方が人件費削減に寄与すると考えれば、その年数以内で回す、人間のディスプレイ(使い捨て)状態を許せば大勢はそうなる。小泉純一郎が通した派遣法改正は人を使い捨てにする悪法。まあ、いまさら状況が変わったところで過去は取り返せない、希望のないまま働き続けた数十年は還らない、最初は女だと結婚退職を余儀なくされ、転職せざるを得ず、派遣法改正後の氷河期

# 41・6%の派遣スタッフが 何らかの「孤独を感じている」

派遣スタッフに「あなたは『孤独』を感じているか」と聞いたところ…

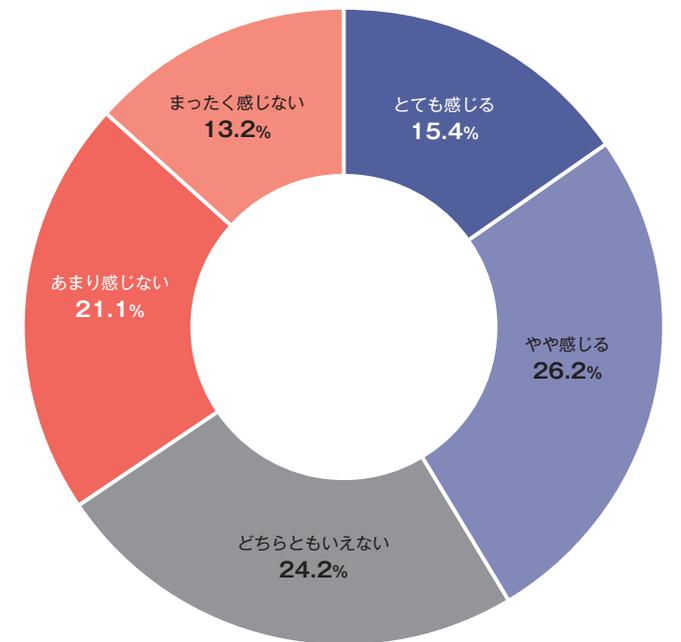
性別では男性スタッフに多い「孤独感」

2000人の派遣スタッフに対して、単刀直入に「あなたは『孤独』を感じているか」について聞いたところ、図表1の円グラフのような結果が得られた。

最も多かったのは「やや感じる」の26・2%。「とても感じる」の15・4%と合わせると、41・6%の派遣スタッフが何らかの「孤独」を感じている「様子」がうかがえた。その理由や「孤独を感じる」場面などについては、後ほど具体的なコメントと併せて紹介していきたいが、この「孤独を感じている」と回答した41・6%という数字を、まずはどう受け取るべきだろうか。

人材派遣という「伴走型」の働き方における大きな特色であり、かつ魅力でもある派遣会社の「スタッフフォロー」の仕組みを念頭に置くと、4割以上が「孤独を感じている」という派遣スタッフの現状には、やはり課題を感じないわけにはいかない。  
さらに、同調査結果における「性

図表1 あなたは「孤独」を感じているか。(回答は1つ) n=2000



回答率 (%) は、小数点以下第 2 位は四捨五入により、小数点第 1 位までを表示しています。そのため、合計数値は 100% にはならない場合があります。

年代別」での割合として示したものが、図表2である。これを見ると、「孤独を感じている」割合は男性スタッフに多く見受けられる。  
孤独を「とても感じる」の割合では、40代の男性スタッフの20・9%が最多である一方で、20代男性においても「とても感じる」と「やや感じる」を併せると63・1%が「孤独を感じている」など、

すべての世代において男性スタッフの「孤独度」は高い割合を示している。  
今回の調査では、独身や既婚、家族構成などの細かな類型にまでは踏み込んでいないが、「派遣スタッフの孤独」には男女差、個人差が大きく、後述する派遣スタッフのコメント一覧のキーワード分類からもうかがえるように、その孤独の種類、つまり「幅」はかな